

歴史を歩く 48

（近世以降の行政の中心となった地域（馬場・城内）
 牟田地を埋め立てて発展した商業地（三文字地区））②

おおさきの歴史を旅してみませんか⑭

5 如意山宝捧寺多間院跡

慶長初め（1600年頃）に鹿児島大乗院から来た権大僧都頼恵が開山したと伝えられる。大乗院の末寺で真言宗。大崎郷の祈願所であった。

寺の敷地の大部分は中央公民館敷地として造成された。現在は墓地として、その名残を残す。

敷地内には2基の六面地蔵（町指定文化財）があり、うち1基（奥）は、高さ300cmで『如意山第九世中興開山法印大僧都傳瑜和尚位』の銘がある。もう1基（手前）は、高さ314cmで、『権大僧都朝弘霊位』の銘がある。どちらも追善供養のため、寛文7年（1667年）に建立された。



6 八幡神社

文明12年（1480年）に紀氏実政が大願主となって創建。

大崎郷創建後は、麓の武家によってこの場所に勧請し、氏神として守られてきた。



7 山下家の六地藏（町指定文化財）

馬場大園墓地内にある。宝暦6年（1756年）に建立された。六地藏の背面には、産後に22歳で亡くなった山下常政の娘を悼む内容が刻まれている。